

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の編集にあたって

阿久津 達也[†]

第8号では2002年9月, 11月の各研究会に基づいた論文を中心に, 2002年5月の研究会連動論文で第6号発刊以降(第7号は進化的計算特集号)に採録された論文2編と研究会非連動論文2編を加えて, 計13編の採録論文を掲載しております. 採録論文数/投稿論文数は, 9月および11月の各研究会ごとに, それぞれ, 2編/5編, 7編/15編となっております. この2つを合わせますと採択率は45%となります. ただし, 2002年11月開催の研究会での発表論文については, 2件が改訂中となっておりますので, これらが採択されますと採択率は55%となります. また, 2002年度研究会非連動論文も2件が改訂中となっております. 第8号までに採否が決定しました論文の採択状況は113編/213編ですので, 総採択率は53%となりますので, 今回もほぼこれまでと同様の採択率となります. なお, 以前に不採録となった論文の中には再投稿により採録となる論文がありますが, それらは2回の投稿としてカウントされることとなります.

本研究会論文誌の特徴の1つとして, いったんは不採録として判定しても価値があると認められる論文については再投稿, 再々投稿を促すということがあげられ, 今回掲載された論文の中にもそのようにして採録に至ったものが含まれています. なお, 今号の採録論文13編の担当編集委員は掲載順で, 阿久津達也, 高田司郎, 古瀬慶博, 三木光範, 笹倉万里子, 庄野逸, 城和貴, 坂本比呂志, 小林聡, 坂本比呂志, 高橋治久, 古瀬慶博, 古瀬慶博となっております.

第8号に掲載された論文は, 熱伝導微分方程式, 多階層モデル, 量子アルゴリズム, 数理最適化モデル, 遺伝的アルゴリズム, エージェント, ニューラルネットワーク, セルオートマタなどと多岐にわたる数理モデルが用いられており, 応用分野の面から見ても VLSI

設計, マルチメディアネットワーク, WEB コミュニティ, ロボティクス, 画像認識, 建築・土木工学と広範囲にわたる分野が対象となっており, まさに「数理モデル化と応用」という論文誌名にふさわしいものとなっております. どの論文も最新の話題を取り扱い, 現実の問題のモデル化, およびその解法を取り扱ったもので, 各分野に大きな貢献をするものと考えています. 本論文誌の大きな特徴の1つとして, 「数理モデル」が関係すれば応用分野を限定せずに論文を受け付ける, ということがあります. そのため, 他の論文誌では「分野違い」といって門前払いとなるような論文であっても, 適切な査読者を見つけて迅速に評価するように心がけています. また, 論文の査読や審査にあたっては, 新規性と有用性の両者を求めるのではなく, どちらか一方に十分な価値があれば, それを高く評価するという方針を取っております.

平成11年2月に第1号が発刊してからすでに4年以上が経過し TOM も論文誌(Transaction)として定着し, 平成14年度は進化的計算特集号を含め年間2号を発刊いたしました. 平成15年度は第8号および特集号を含め年間3号の発刊を予定しております. 配布部数につきましては, これまでどおり1,000部を予定しております. なお, 論文誌の定期購読制度もありますので, ぜひ, こちらもご利用ください. また, 研究会開催記録, 研究会登録案内, 投稿案内などに関する最新の情報はすべて WWW ページ上に掲載しております. すべての情報は研究会ホームページ(<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>)よりたどることができますので, SIGMPS 研究会および本論文誌に関しては, そちらをご参照くださいますよう, お願い申し上げます.

[†] 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
京都大学